

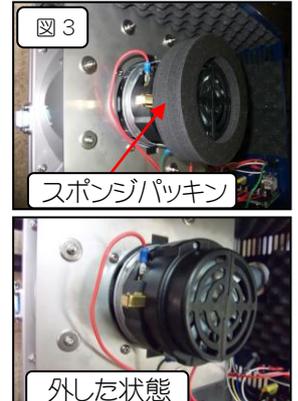
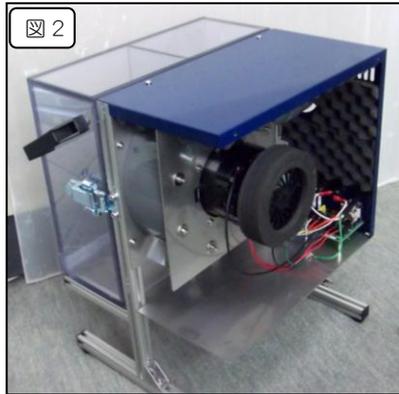
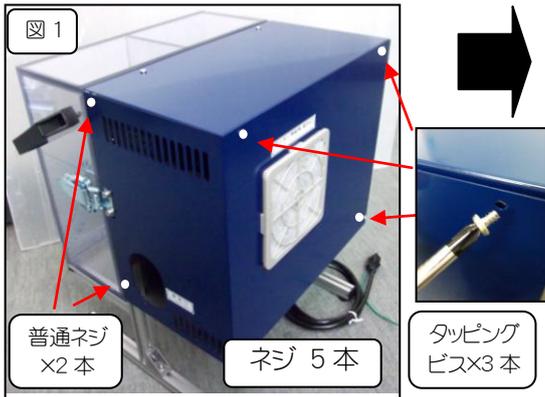
カーボンブラシ交換図 (SB01-N 型)

吸引機本体が動かなくなった場合は、吸引機本体内部のモーターに付いているカーボンブラシの消耗が考えられますので下記の説明を参考にカーボンブラシを交換して下さい。

※ カーボンブラシを交換する前に下記の事項をチェックして下さい。

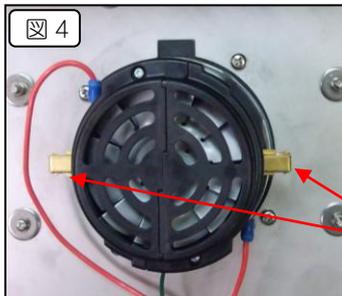
- ① 本体スイッチのON/OFF (吸引機本体側面に付いているスナップスイッチがONになっているか)
- ② フットスイッチの不良 (吸引機本体から出ている黒い電源コードを、フットスイッチを通さずに100Vのコンセントに直接差し込んで、吸引機本体が動けばフットスイッチの不良です)
- ③ ヒューズ切れ (吸引機本体側面に付いている15アンペアのヒューズが切れていないか?)

カーボンブラシを交換する場合は、必ず電源プラグを抜いてから作業を行って下さい。

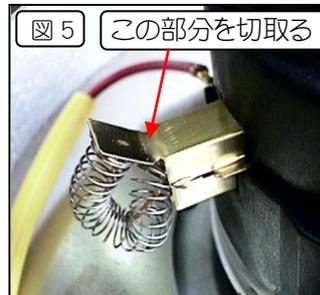


① (図 1)の 5 箇所のネジを外すと、L 型のふた部分が取り外せて、モーター本体が見えてきます。(図 2)

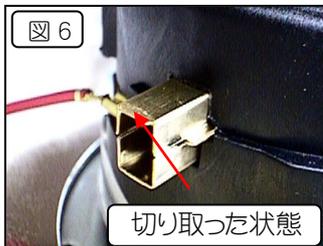
② モーター本体の上部に付いているスポンジパッキンを取り外します。



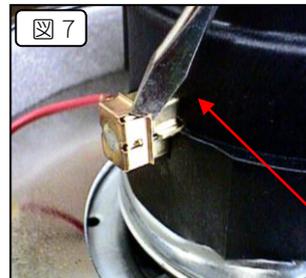
③ モーターの両サイドに付いているカーボンブラシを交換します。



④ 初めてカーボンブラシを交換する場合は、(図5)を参考に、つめの部分を折り取ってカーボンブラシを外して下さい。



⑤ カーボンブラシを取り外した後、カーボンブラシホルダー内にカーボン粉が溜まっている可能性がありますので、ホルダー内をエア等で吹き飛ばしてください。



⑥ 2回目からはマイナスドライバー等でカーボンブラシ止め金具を外し、モーター本体よりカーボンブラシを取り外して下さい。



⑦ 先にカーボンブラシを差し込んでから、スプリングがなるべくまっすぐに入るように押し込んで、カーボンブラシ止め金具がカチッと音がるように取り付けて下さい。(図 8)

⑧ 図 3 を参考にし**て必ずスポンジパッキンを取り付けます。**

⑨ 図 1 を参考に L 型のふたを取り付けます。